

**2022年度**

## デジタルトランスフォーメーション(DX) Challenge塾

### 【基礎編&実践編】

**期 間** 第3期 2022年5月～2023年3月(原則として毎月1回 第2水曜日 全11回)  
**定 員** 限定20社 (リモート開催のため、各社様の参加人数の制限はございません。  
社内研修・教育にご活用下さいませ)

**対 象** 大企業・中小・ベンチャー、海外の“若手から中堅・中高年のメンバー”  
～仕事の分野、役職、立場を問わず、DXに興味あるビジネスパーソンを  
主たる対象とする。とりわけ、DX・AIの知識がゼロでも、新しい世界にチャ  
レンジしたい意欲ある方を大歓迎！大切なのは、好奇心と向上心です！

**開催形式** 通年オンラインにて開催 **年会費** 1社 200,000円

#### 【コーディネータ】

**森 英悟** (株式会社Sigfoss代表取締役社長 工学博士)

**兼安 暁** (DXT コンサルティング株式会社 代表取締役)

**吉田 直可** (法律事務所愛宕山所属弁護士/明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員)

**内野 崇** (学習院大学名誉教授)

一般社団法人 経営研究所

### 【改めてDX Challenge塾の狙い】

- ① これからの企業の存続・成長を考える上で業種の如何を問わず、DX(デジタルトランスフォーメーション)に対する深い理解と取り組みは、まさに必須のアイテムといえます。外部のAIまたはSI企業に丸投げしていいのでしょうか！！ IT&DXのリテラシーの継続的な向上と学習の場の提供を通じて、DXを活用したビジネスモデルの構築と、併せてそうしたダイナミックな変化に対応できる“デジタル人材の組織だった育成の場”、社内研修講座の受け皿として極めてリーズナブルな会費にて、ご活用いただくことをめざします。
- ② 基礎編(前半)では、IT革命の流れとDXの本質と新しいビジネスモデルの展開、そしてDXのコアたるAI(ビッグデータとディープ・ラーニング)の基本並びにDXの法的な視点から見た課題について理解を深めます。後半の実践編では、実際にDXに取り組んでいる企業の皆様にご登壇いただきます。改めてDXの総括とポイントの整理を交えながら、臨場感に溢れた当事者の経験知と実践知の共有を目指したいと考えます。DXの基本知識なしでも十分に理解可能なセミナーでございます。初心者の方、大歓迎でございます。

- ③ 5Gの時代に入り、グローバルなサイバー空間の広がり、スピード感に溢れたソリューション志向の戦略の展開をコアとするDXの時代を迎え、個人にあっては、新しいキャリア形成とキャリア・アップの糧に、そして新たな企業成長をめざし、DXを活用したビジネスモデルの構築の礎になればと存じます。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 【2022年度 DX Challenge塾プログラム】

(原則として毎月 第2水曜日 全11回 18:30~20:00)

### ◆基礎編

第1回	5月18日(水)	「DXの進展とこれからの企業成長について」 望月 愛子氏(株式会社 経営共創基盤 共同経営者 取締役CFO マネージングディレクター)
第2回	6月8日(水)	「DXなしには語れない成熟業界のビジネスモデル変革」 山田 英夫氏(早稲田大学ビジネススクール教授)
第3回	7月13日(水)	「DXが世界を変え、未来を変える」 兼安 暁(DXTコンサルティング株式会社 代表取締役)
第4回	8月3日(水)	「DXのコアたるAIの世界を見に行く」 森 英悟(株式会社Sigfoss代表取締役社長 工学博士)
第5回	9月14日(水)	「DXを法的な視点から考える—DXの可能性と落とし穴そしてリスク」 吉田 直可(法律事務所愛宕山所属弁護士 明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員)

### ◆DXへの各企業の取組み

第6回	10月12日(水)	「日立造船のDXへの取組み」 佐藤 英夫氏(日立造船株式会社 環境事業本部エンジニアリングビジネスユニット長)
第7回	11月9日(水)	「DX(ICT)がCASE・MaaSの開発や市場形成に及ぼす影響」 野辺 継男氏(インテル株式会社 事業開発・政策推進ダイレクター チーフ・ サービス・アーキテクト 兼 名古屋大学 未来社会創造機構 客員准教授)
第8回	12月14日(水)	「ブリヂストン流DX ～素材開発から断トツソリューションへ、イノベーションを加速～」 真玉 修司氏 (株式会社ブリヂストン Bridgestone T&D PaaS技術企画部 上席主幹)
第9回	1月18日(水)	「中国の凄まじいDXの進展の現実と課題」 藤代 康一氏(株式会社三井物産戦略研究所 研究員)
第10回	2月8日(水)	「日立のDXへの取組み」(交渉中)
第11回	3月8日(水)	「総括—“サステナビリティとESG経営”と“経済性”の両立に向けてDXを どう活用したらよいのか」 コーディネータ4氏—森・内野・吉田・兼安の4氏による

(テーマは仮題となります)

## 【コーディネータ 紹介】

### 森 英悟

北海道大学大学院博士後期課程単位取得退学 工学博士/ 株式会社 Sigfoss 代表取締役社長  
<プロフィール>

1968 年生まれ。自然言語処理に関する研究で学位取得。日本 IBM、NOKIA(フィンランド)、東証一部企業の代表取締役を経て、2014 年に Sigfoss を創立。画像認識、ビッグデータ解析、自然言語処理、マルチメディア処理、IoT などの分野で最先端の技術を導入したシステムの研究開発を手がけている。近年は多くのお客様の画像、人事、SNS、アクセスデータ解析を手がけており、進展の著しいディープラーニング技術に特に注力。自動運転、マーケティングツール、チャットボットなどのシステム開発で大きな成果をあげている。

### 兼安 暁

DXT コンサルティング株式会社 代表取締役  
<プロフィール>

米国系コンサルティングファーム、ベンチャー企業、一部上場企業を経て、フリーのコンサルタントとして独立。日本で最初に基幹システムを LINUX 上で導入。Tポイントの立ち上げに、リードアーキテクト兼システム総責任者として貢献。小売流通、貿易、物流、製造、エネルギー、コミュニケーション、造船、金融、不動産、IT、製薬、農林水産業、旅行業、メディア、通信、EC、航空宇宙など、あらゆる産業を経験。2016 年より、Fintech、Retech を中心に起業支援。米国、東南アジアで事業を自ら立ち上げ中のものも含め、これまでに 200 以上の DX 案件に携わる。

### 内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。株式会社関電工取締役。著書に『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

### 吉田 直可

法律事務所愛宕山所属弁護士/明治大学自動運転社会総合研究所客員研究員(自動運転 AI、医療 AI 研究)

<プロフィール>

1981 年生まれ。2008 年に弁護士として登録(東京弁護士会)、2012 年に法律事務所愛宕山を開設。2018 年 4 月に明治大学の自動運転社会総合研究所にて客員研究員に就任。社会実装部会部会長、医療 AI 部門部会長として、自動運転分野や医療分野における AI 活用のリスク管理を専門とする研究を行う。その他、明星大学情報学部、サイバー大学 IT 総合学部において非常勤講師として教壇に立つ他、経済産業省・国土交通省委託事業「自動走行の民事上の責任及び社会受容性に関する研究」に関する協力委員も担当していたほか、自動車技術会の HMI 委員会委員、特定非営利法人人間中心設計推進機構自動運転社会における HAI 検討委員会委員を務めるなどしている。

【アシスタント】篠崎 亜季 株式会社 Sigfoss マネージャー

### 【経営研究所とは】

経営研究所は昭和21年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに2010年6月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013年9月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来70有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013年10月をもって改めて21世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙いとしています。

\* 詳細は、当研究所のホームページ (URL: [keieikenkyusho@keieik.or.jp](mailto:keieikenkyusho@keieik.or.jp)) をご覧くださいませ。

## 【参加申込方法】

**年会費** 各社様 200,000 円 ※経営研究所維持会員は 10%割引、分納可。  
**申込方法** 下記の所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくは FAX でご送付下さい。  
参加は会社単位にて、各社の担当様よりお申込みくださいませ。  
参加申込書をいただきましたら、改めてご担当者様にご連絡を申し上げます。

**連絡先** 一般社団法人 経営研究所 事務局  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F  
TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208  
E-mail: keieikenkyusho@keieik.or.jp / URL: <http://www.keieik.or.jp>



## 会場案内図



## 【三菱ビルへの行き方】

- JR  
「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分  
京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄  
千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分  
丸ノ内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分  
都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分  
東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

## 第3期(2022年度) DX Challenge塾 参加申込書

年 月 日

会社名	
所在地 〒	
連絡担当者	TEL E-mail
所属部署および役職名	
請求書送付先 (連絡ご担当者様と異なる場合はご記入下さい)	
氏名	
所属部署及び役職名	
TEL	E-mail